

## 電子入札システムについて

- 電子入札システムは、秋田県公共事業執行管理システムの一部として、主に入札・契約事務を行うシステム
- 全国共通基盤であるコアシステムをベースに、県の仕様に応じた独自システムを構築

### 「秋田県公共事業執行管理システム」

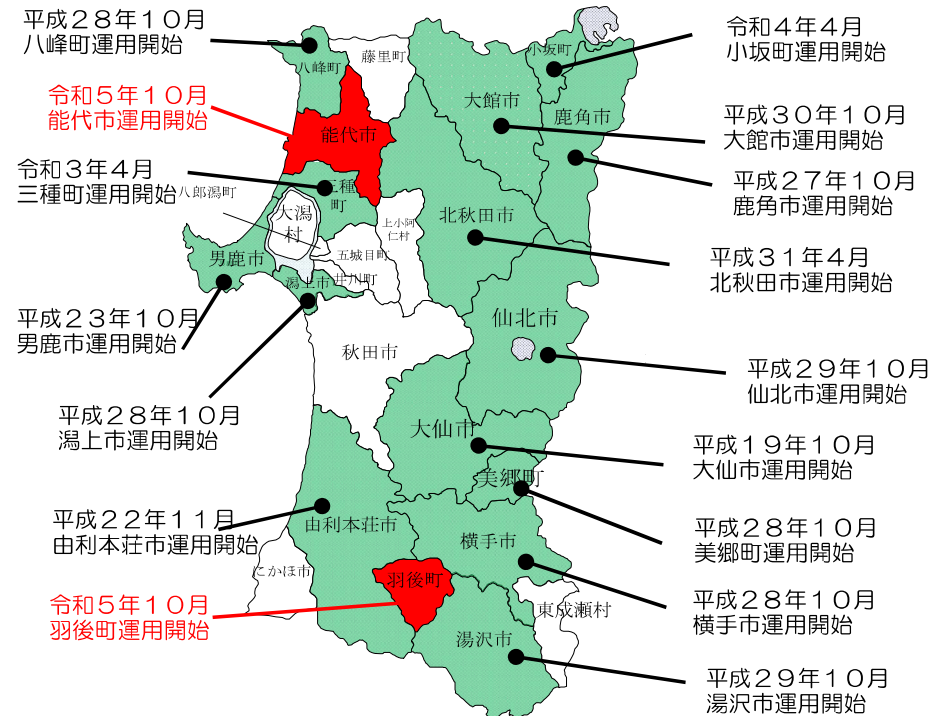


## 電子入札の効果

- 事務の効率化  
各種書類が電子化されることにより、書類作成やデータ保管の効率化、入札事務の迅速化が図られるほか、入札会場や駐車場の確保が不要
- 応札者の費用低減  
インターネットを介して参加申請や入札が行えるため、時間や経費が削減可能

## 共同利用について

- 電子入札システムは複数自治体による共同利用が可能であり、県主導により共同利用を推進
- 共同利用は県と16市町で実施しており、更なる利用拡大に向け、活動を展開中



## 共同利用の効果

- 応札者は、県と同じ環境・操作方法で入札事務が可能
- 参加自治体は個別にシステム整備せず安価に電子入札を利用可能（利用者増に伴い負担額減）
- 利用者合同の操作研修や事務ミス防止情報の共有が可能